

漁海況情報第3報 (2018年6月13日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

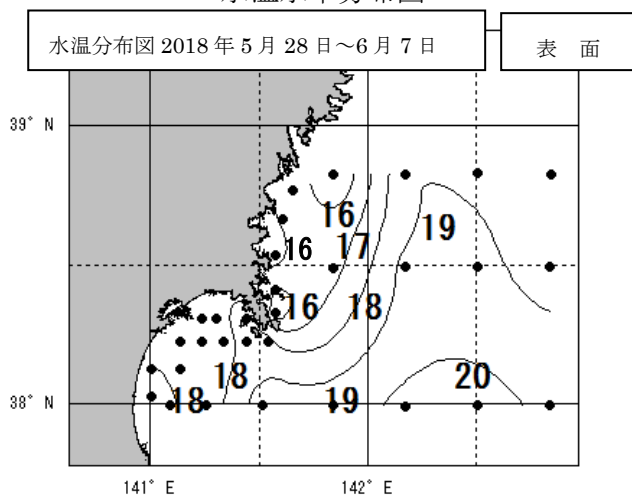
北上暖水の波及により、沿岸の水温が高い状態が続いています。

宮城県沿岸の表面水温は15～20℃台、100m深水温は8～12℃台となっています。沿岸域の水温は北上暖水の強い波及により表層で最大5℃、水深100mで最大6℃、平年より高くなっており、特に142°E以東の沖合で高水温傾向が顕著です [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図] [P2.水温鉛直断面図]。

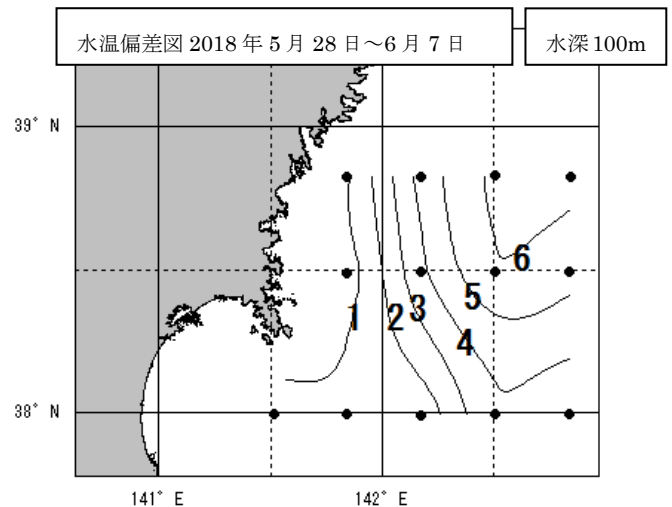
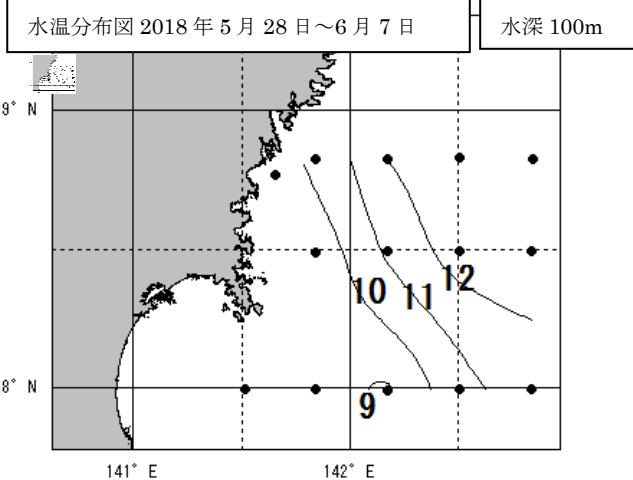
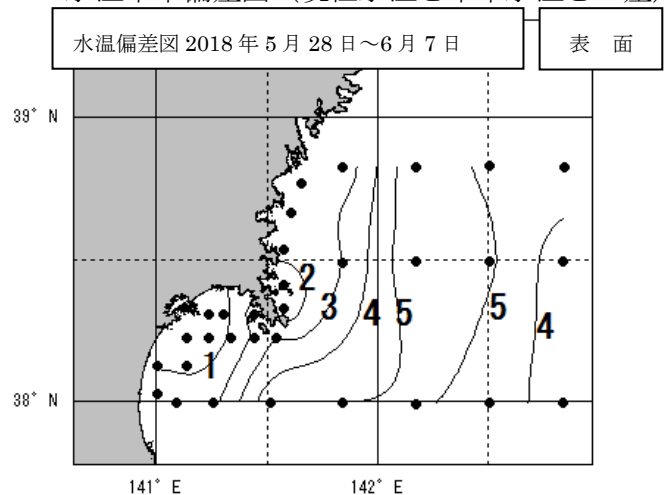
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮は道東沖に後退し、茨城～宮城沿岸には17～19℃台の暖水が北上しています [P2.東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

6月上旬の定地水温は16～21℃台で平年より1.9～3.7℃高めとなっております。高水温傾向が続いています [P3.定置海洋観測図]。海底直上水温は7～13℃台で、昨年より高めです。 [P3.海底直上水温図]。

・水温水平分布図

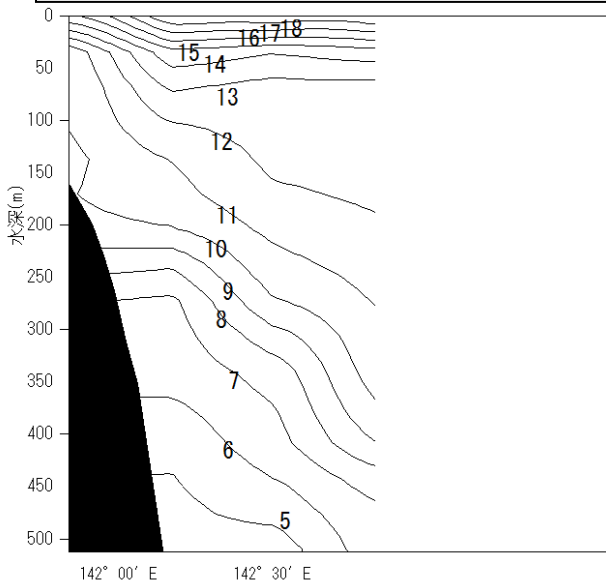


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

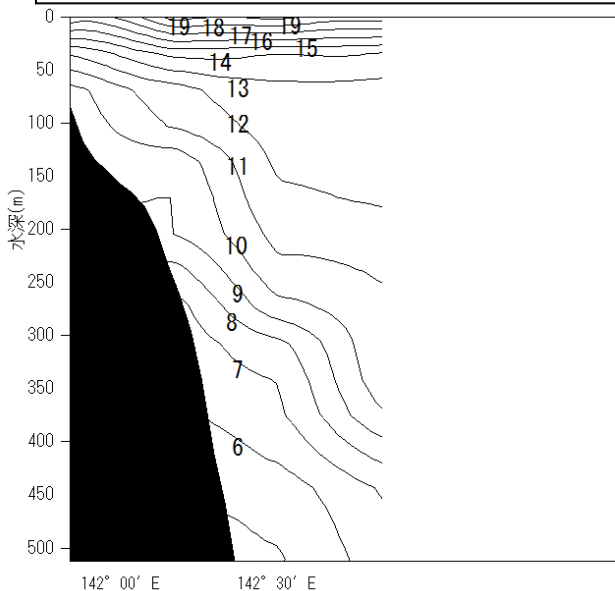


・水温鉛直断面図

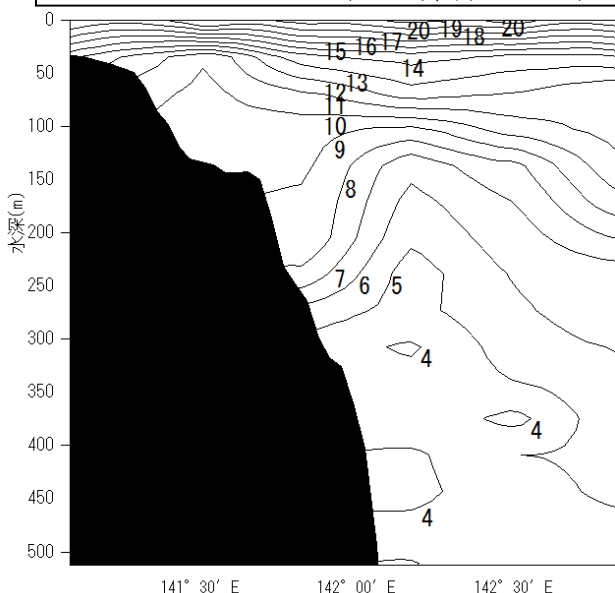
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

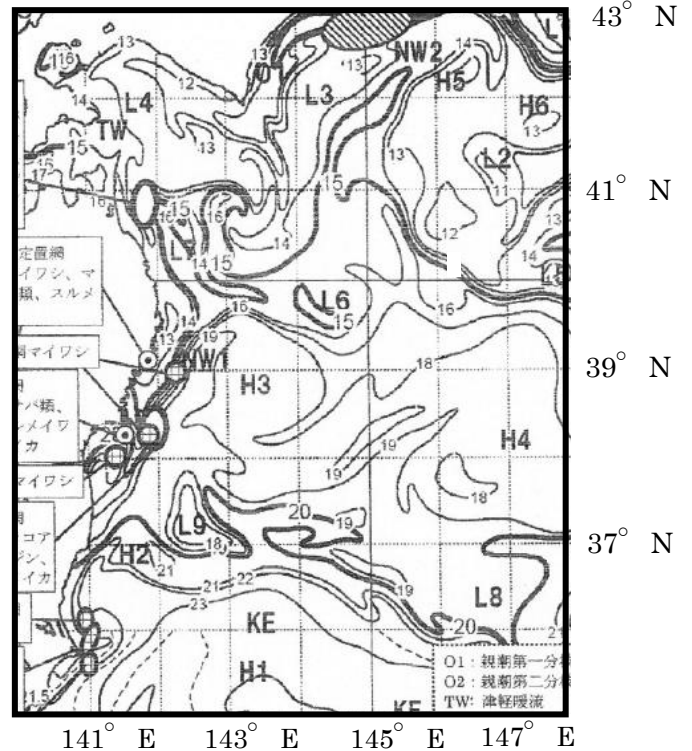


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2018年6月7日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

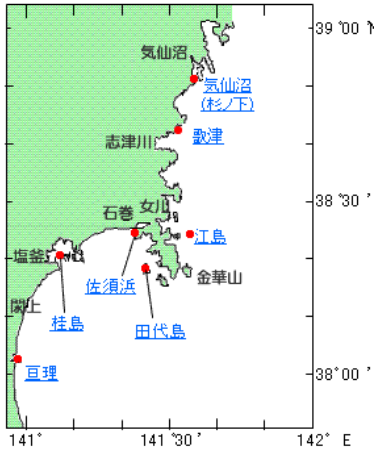
【海況】 (6月7日表面水温)

- ・親潮 (10℃以下) は道東沖まで後退, 下北～三陸～金華山の沿岸に 13～15℃台のやや冷たい混合水が分布。
- ・黒潮 (22～24℃台) は伊豆半島周辺を北上し南房総に接岸後, 房総沖を東進。
- ・鹿島灘～九十九里沿岸に 20～21℃台の暖水が分布。
- ・17～19℃台の暖水が茨城～岩手沖を岸寄りに北上し宮古沖へ到達。
- ・143～147° E のやや沖合では 14～18℃台の暖水が根室沖南 30 海里まで北上。

【漁況】 (6月5～7日)

- ・まき網: 岩手～宮城沖で一そうまき網がマイワシ小中羽、犬吠埼沖では一そうまき網と2そうまき網が中羽とサバ, アジを漁獲。
- ・定置網: 金華山周辺はマイワシ主体, 暖水魚増加, 大船渡はマサバ主体にマグロなど。
- ・カツオ竿釣: 房総沖 148～149° E 付近を主漁場に平均 8.0t/隻・日を維持。中・大ビンナガ主体, 極小・小・中カツオなど漁獲。
- ・カツオ・マグロまき網: 11ヶ統が伊豆諸島周辺～房総沖 152° E で漁獲。

・定地海洋観測



	6月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	16.0	高め	1.9	2.3
歌津	16.6	極めて高め	3.3	2.8
江島	15.2	高め	1.9	2.0
田代島	19.8	極めて高め	3.7	4.4
佐須浜	19.9	極めて高め	2.7	3.7
桂島	21.8	極めて高め	2.5	3.7
巨理	21.0	極めて高め	2.7	-

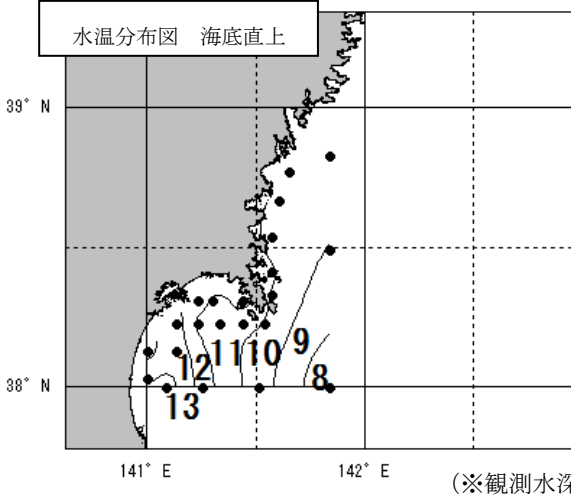
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は,

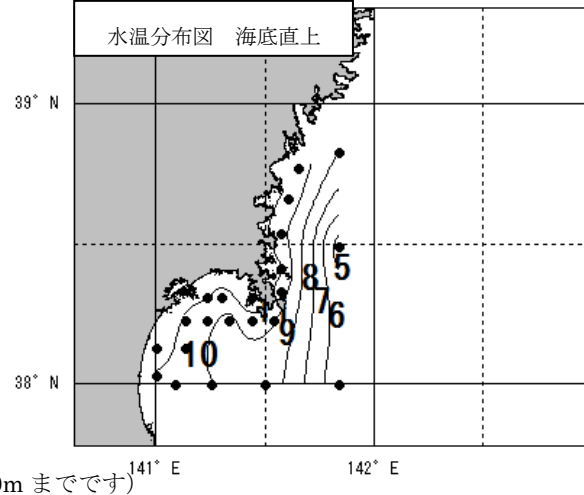
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2018年5月28日～6月7日)



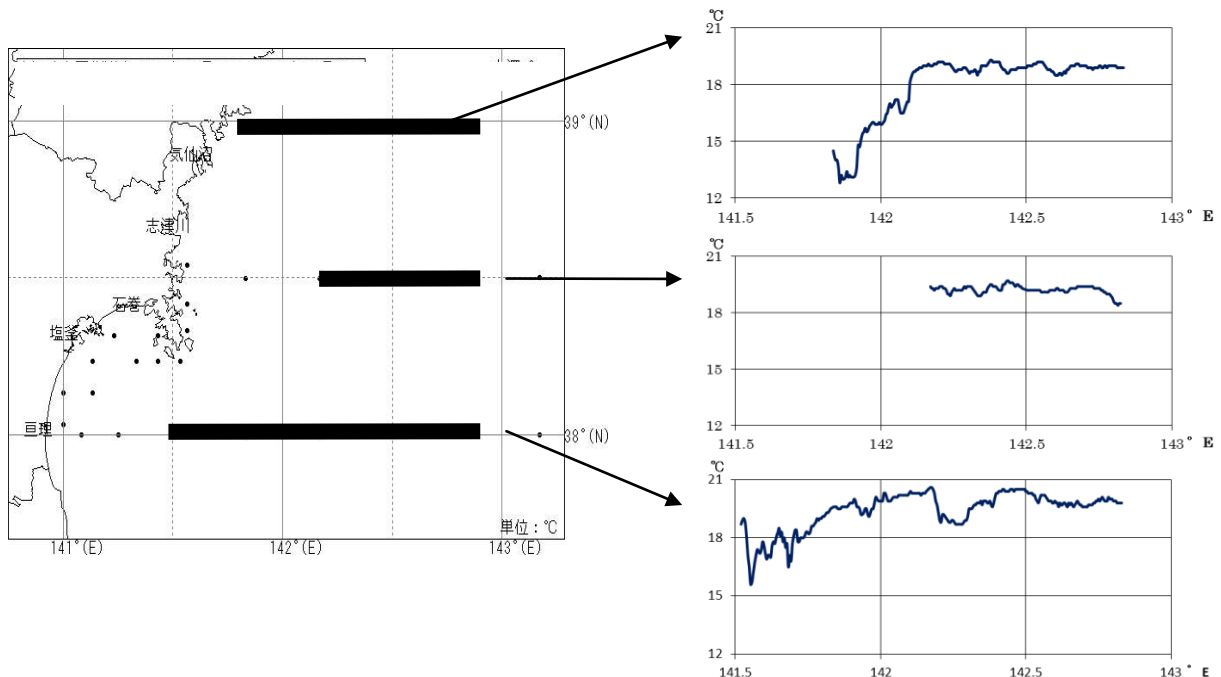
・海底直上水温(2017年5月31日～6月7日)



(※観測水深は500mまでです)

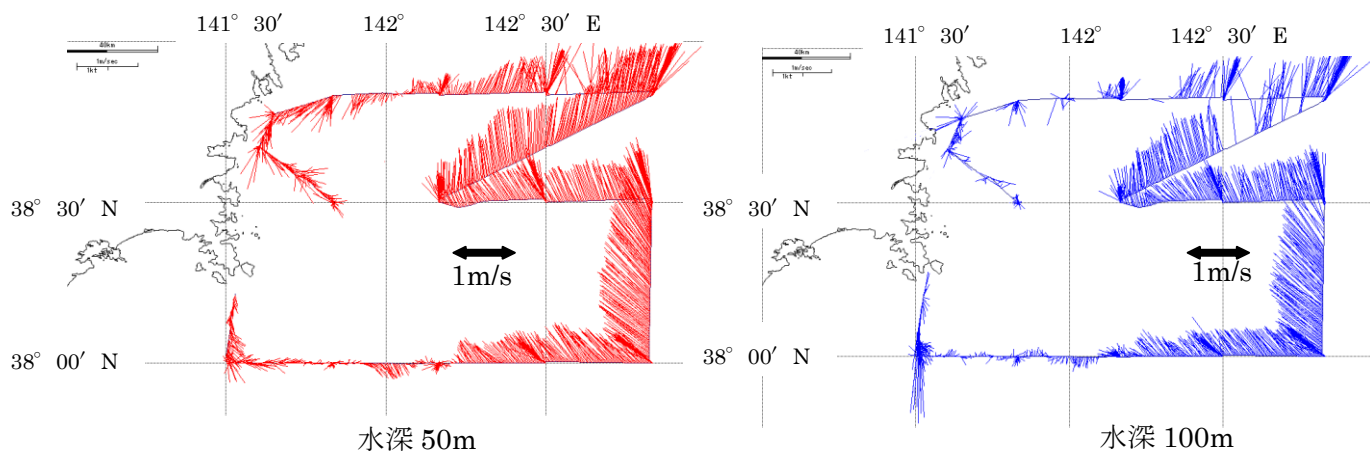
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。142° 30' E 以東で北向きの流れが卓越しています。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

前年と比較して、ビンナガ、メバチ、キハダ、ヤリイカ、マイワシなどが水揚げを伸ばしています。クロマグロ、ヒラメ、マコガレイ、マガレイ、マダラ、スケトウダラなどの水揚げは前年より減っています。

(単位：トン)

2018年5月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			410		1637				81	1	1	2130	249%
メバチ			55		30				15	0	20	121	167%
クロマグロ						1			1	3	1	5	2%
キハダ			169		1				4		3	177	136%
カツオ			679		220				0	0	0	900	57%
サバ類	197	1	0			2605	1				85	2889	80%
ヒラメ	3	3	0			3	4				4	17	11%
マコガレイ	1	3	0			0	3				5	12	14%
マガレイ			0			0	0				0	1	8%
スルメイカ	0	1	1			9					0	11	90%
ヤリイカ	1	1	0			5		0			1	9	117%
マイワシ			2248			2634					12	4894	193%
カタクチイワシ						0					1	1	28%
サワラ						5			0	0	0	5	26%
マダラ	81	1	0			0	0				5	87	26%
スケトウダラ	57	20	0			6	0				0	83	23%

5. 調査船運航計画

みやしお	
6月18～19日	イカ類漁場一斉調査
6月20～21日	
6月25～27日	タラ類新規加入量調査
開洋	
6月18日	仙台湾底質調査
6月18日	刺網調査
6月27～28日	浅海定線調査